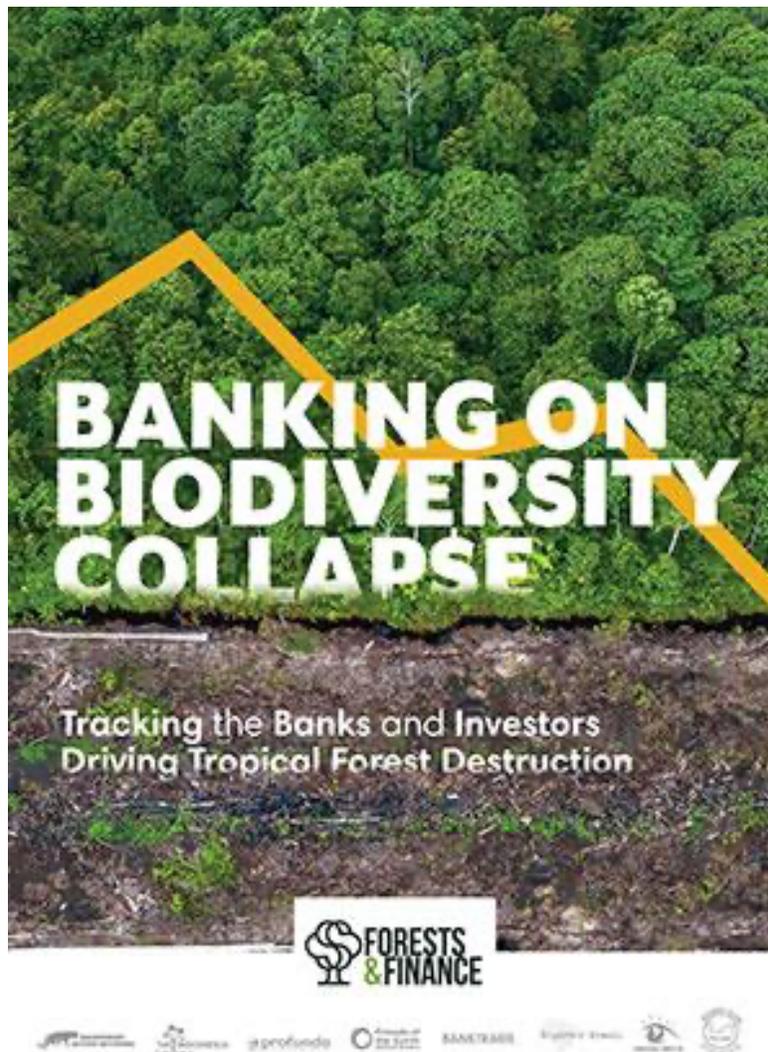


「生物多様性崩壊をもたらす金融業務」要約版

～熱帯林破壊を助長する銀行と投資家の追跡～

「森林と金融」連合

2023年12月



執筆団体: レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)、TuK インドネシア、プロフンド(Profundo)、アマゾン・ウォッチ、レポーターブラジル、バンクトラック、サハバット・アラム・マレーシア(国際環境 NGO FoE Malaysia)、FoE US

要約

熱帯林は、世界的に重要な生物群系(バイオーム)であり、世界における陸上の生物多様性の大半を抱え、気候の安定に不可欠である。しかし、これらの生態系とそれに依存する人々はアグリビジネスと森林伐採の継続的な拡大により、深刻な脅威にさらされている。[気候変動の壊滅的な影響¹](#)を世界中が体感している今もなお、この地球で人類が生きていく上で極めて[重要な生態系²](#)が破綻の危機に瀕している。同時に、自分たちの土地と権利を守るために闘う[人々³](#)は脅迫され、犯罪者として不当に告発され、そして殺害されている。アグリビジネスと伐採の悪影響を受けているコミュニティと労働者は、食と農業システム全体において搾取と不正義に直面している。従来通りのやり方(ビジネス・アズ・ユージュアル)を継続する選択肢はもはやない。

2022 年末の国連生物多様性条約第 15 回締約国会議(COP15)で、生物多様性に関する画期的な合意「昆明・モントリオール生物多様性枠組(GBF: Global Biodiversity Framework)」が採択され、196 カ国によって署名された。同枠組は、世界の生物多様性の損失を食い止め、回復させるための目標を定めており、金融機関がこの合意に沿うように、国家に対して政策的・法的措置を講じることを義務付けることも含まれている。これは金融セクターが生物多様性危機を助長していることに長年対処できていないことを認識する上で、重要な一歩である。森林リスク商品の拡大に関連して非常に深刻な社会・環境的損害が起きていることはすでに広く知られているが、こうした損害をもたらしているアグリビジネスや伐採企業に対して何の罰もなく資金流入が続いている。

本報告書「生物多様性崩壊をもたらす金融業務」は、大半の熱帯林破壊をもたらしている森林リスク商品セクターに[流れている⁴](#)と推測できる商業的な資金を示している。「森林と金融」は、世界の三大熱帯林生物群系(東南アジア、南米、中央・西アフリカ)で牛肉、パーム油、紙パルプ、ゴム、大豆、木材の生産に携わる企業の最大手約 300 社を分析した。2016 年 1 月から 2023 年 9 月の期間、銀行はこれらの事業に少なくとも 3070 億米ドルの融資・引受を行っている。加えて、機関投資家による支援もあった。機関投資家が保有する上記 300 社の株式と債券は、2023 年 9 月時点で 380 億米ドルに及ぶ。

森林リスク商品セクターへの資金提供は、ブラジル(1270 億米ドル)、インドネシア(310 億米ドル)、中国(250 億米ドル)、米国(220 億米ドル)、日本(200 億米ドル)の銀行が占め、2016 年以降に記録された融資・引受総額の 73%は上記 5 カ国の銀行が提供している。投資を行っている国はさらに集

¹ [“AR6 Synthesis Report: Climate Change 2023,”](#) Intergovernmental Panel on Climate Change, 2023.

² [“All Planetary Boundaries Mapped out for the First Time, Six of Nine Crossed,”](#) Stockholm Resilience Centre, September 13, 2023.

³ [“Almost 2,000 Land and Environmental Defenders Killed between 2012 and 2022 for Protecting the Planet,”](#) Global Witness.

⁴ Florence Pendrill et al., [“Deforestation Displaced: Trade in Forest-Risk Commodities and the Prospects for a Global Forest Transition,”](#) Environmental Research Letters 14, no. 5 (May 2019):055003.

中傾向にあり、2023年9月時点で投資総額の66%を米国(140億米ドル)とマレーシア(110億米ドル)の2カ国が占めた。2016年から2023年9月までの年間融資・引受総額と投資総額は多少変動はあるものの、森林リスク産品生産の継続的拡大を促進する資本が減少傾向にあるとはいえない。

「森林と金融」はまた、熱帯林に影響を与える銀行や投資家のファイナンスで頻繁に生じる特定の種類のリスクや影響を軽減するために、金融機関がどのような主張をして方針を構築しているかを評価した。100社を超える金融機関の森林リスク産品セクターに関する方針を2023年に分析したところ、各社の方針は危険なまでに不十分であることが判明した。方針評価は100点満点で、全体の平均得点はわずか17点だった。評価対象となった金融機関の大半は30点以下で、ほぼ半数は10点以下であった。この分析は、森林破壊などの社会的・環境的損害を防ぐために必要な防止措置である方針が不十分なまま、多くの資金が提供されていることを示している。金融セクターは組織的な怠慢により、気候危機と自然危機を助長していることに対処できていないようだ。

本報告書では、銀行や投資家がどのような顧客の行動を容認し、助長しているかを示す4つの事例を紹介している。JBS、カーギル、ロイヤル・ゴールドン・イーグル(RGE)、シナルマス・グループといったコングロマリット(複合企業)各社は、熱帯林リスクセクターでよく見られるリスクの典型例となるような、甚大な社会・環境損害との関連を繰り返し指摘されている。しかし、これら企業グループは何十億ドルもの商業資金を調達し続けており、土地やコミュニティに対する破壊的な企業支配を定着させ、拡大させている。これら企業グループの最大の資金提供者には、米国のバンク・オブ・アメリカおよびブラックロック、日本のみずほフィナンシャルグループ、スペインのサンタンデール銀行、ブラジルのブラデスコ銀行、中国の中国銀行、インドネシアのパニン銀行といった世界的な金融大手が名を連ねる。

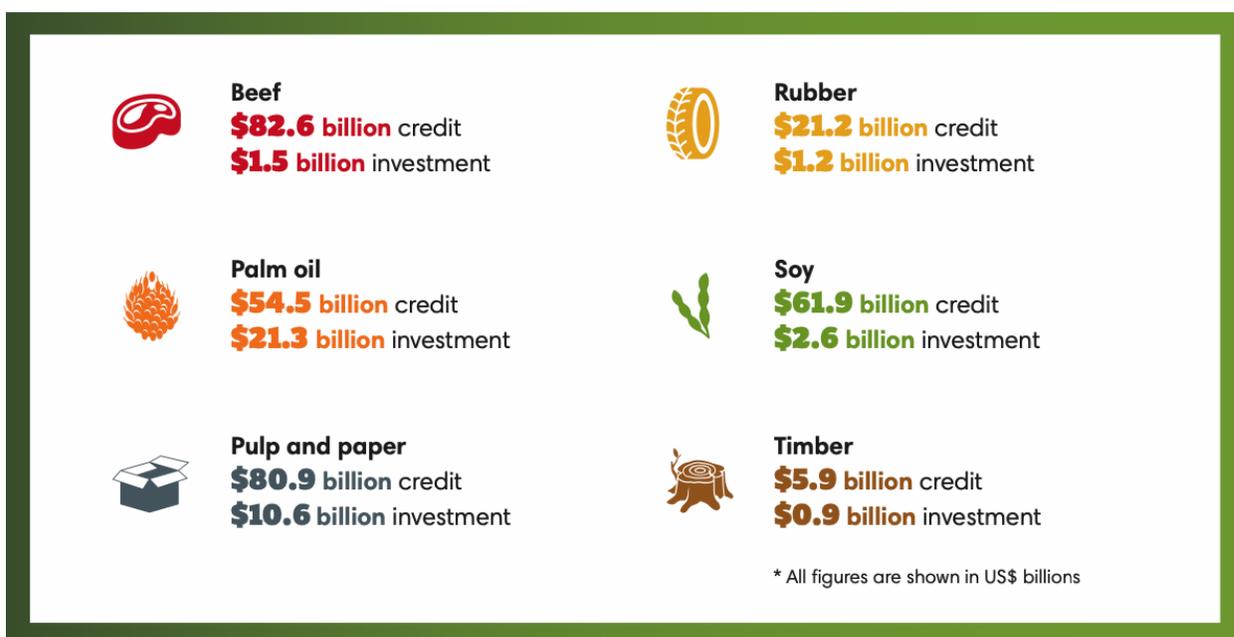
銀行や投資家は、取引先の林業やアグリビジネス事業で多大な被害が記録され、その多くが何十年も継続しているにもかかわらず、収益性の高い取引関係を維持するために、深刻な被害を組織的に無視しているように見える。その一方で、企業は相次いで多くのイニシアチブを立ち上げ、それらは金融機関が実際の透明性や説明責任なしに持続可能性に関する高尚な誓約を行うためのプラットフォームとなっており、従来通りのビジネスのグリーンウォッシュ(訳註:見せかけの環境配慮)を可能にしている。

本報告書は、国際的な公共政策の目標と整合性を保ちながら、社会と私たち皆が依存する生態系を守るために必要な規制を、政府が介入して金融セクターに義務づけることを提唱している。これはシステム全体に影響する根本的な問題であり、最終的にはより強力で体系的な介入が求められる。例えば、生態系破壊を引き起こしている特定のセクターや企業への資金提供を禁止することや、それに基づいて金融機関が投融資を調整しない場合に科す、効果的な制裁を法制化することなどが考えられる。

「森林リスク産品セクター」の概要

「森林と金融」は、熱帯林破壊の原因となっている6品目の森林リスク産品セクターを追跡している。以下の概要は、2016年1月から2023年9月までの間に各セクターに提供された融資・引受(貸付、リボルビング・クレジット・ファシリティ、債券発行、株式発行)と、2023年9月時点の各セクターへの投資残高(債券・株式保有)を示す。

牛肉 <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 826 億米ドル ● 投資額: 15 億米ドル 	ゴム: <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 212 億米ドル ● 投資額: 12 億米ドル
パーム油 <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 545 億米ドル ● 投資額: 213 億米ドル 	大豆: <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 619 億米ドル ● 投資額: 26 億米ドル
紙パルプ: <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 809 億米ドル ● 投資額: 106 億米ドル 	木材: <ul style="list-style-type: none"> ● 融資・引受額: 59 億米ドル ● 投資額: 9 億米ドル



要求

各国政府と金融機関は、気候危機と生物多様性の危機に対処するため、今すぐ行動を起こす必要がある。そのために、私たちは金融セクターに対し、以下の5つの原則を採用し、実施するよう呼びかける。

1. **生物多様性の損失を止め、回復させる**: 自然破壊を引き起こす活動およびセクターへの資金提供を禁止することにより、生物多様性の損失を食い止め、回復させること。
2. **先住民族・地域コミュニティの権利を尊重し、優先する**: 影響を受けるコミュニティの人権を保護し、優先するような方針と慣行を確保することにより、先住民族と地域コミュニティの権利を尊重し、優先すること。
3. **公正な移行を促進する**: 地域コミュニティの生態的・社会的福利を優先し、持続可能な開発・発展の支援のために影響を受ける労働者と地域コミュニティを関与させることによって、公正な移行を促進すること。
4. **生態系の完全性を確保する**: 資金を提供する前に生態系全体への影響を評価し、また、生態系の完全性に悪影響を与える活動への資金提供を禁止することにより、生態系の完全性(インテグリティ)を確保すること。
5. **セクター・課題・金融サービス全般を諸機関の目標と整合させる**: 気候変動と自然(生物多様性)に関する目標、他の様々な機関目標との間に強い一貫性を持たせ、セクター、課題、金融サービスを全般にわたって様々な機関の目標と整合させること。

「森林と金融」について

「森林と金融」は、キャンペーン活動や草の根活動、調査活動を行う8つの団体の連合体であり、レインフォレスト・アクション・ネットワーク、TuK インドネシア、プロフンド(Profundo)、アマゾン・ウォッチ、レポーターブラジル、バンクトラック、サハバット・アラム・マレーシア(国際環境 NGO FoE Malaysia)、FoE US によって構成されている。森林破壊を引き起こすリスクのある産品(森林リスク産品)の生産に関わる企業数百社への資金の流れに関するオープンソースのオンラインデータベースを管理し、公開している。また銀行と投資機関の投融資方針の年次評価、および調査、分析、アドボカシー、キャンペーン活動を連携して行っている。土地と森林の管理におけるコミュニティの権利とコントロールを支援し、社会・環境的被害を促進する役割を担う金融セクターの責任を追及している。

発行日: 2023年12月

ウェブサイト: forestsandfinance.org/banking-on-biodiversity-collapse



BANKTRACK

Repórter Brasil

AMAZON WATCH

